

令和 6 年度

年間授業計画

教科 外国語

科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： 1組 神沼・河内 2組 工藤雅・河内 3組 神沼・工藤雅 4組 神沼・工藤雅 5組 神沼・河内 6組 工藤雅・河内

使用教科書： 教科書：Crown Logic and Expression Ⅱ（三省堂）
副教材：Corpus Crown 総合英語（三省堂）、Workbook for Corpus Crown English Grammar 47準拠ワークブック（三省堂）、Crown Logic and Expression Ⅱ サブノート（三省堂）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、機能表現、ディスコースの展開について理解を深め、実際のコミュニケーションや議論の場面において、適切に言語を運用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多面的な情報を整理しながら的確に自らの意見を表明し、それらを論理的かつ効果的に相手に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化の多様性や社会的課題を意識しつつ、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語における論理的表現の特徴を理解するとともに、それらを自らの研究活動と関連付けて、科学技術者の育成に必要な発話構成力を充実させる。	ディスカッションやディベートを通じて、社会のさまざまな課題に対して主体的に向き合い、科学技術者に求められる論理的態度と批判的考察力を養う。	英語を通じて自らの問いを立て、それを粘り強く追及する表現力を高め、自律的に英語を使って、科学技術者として社会に発信する態度と対話力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	単元 1 Dear Mayor,	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	希望・願望、依頼・要請、許可の表現の運用	【人生・生き方】 希望、依頼、許可を示す機能表現						希望・願望、依頼・養成、許可の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	人生や生き方についてディスカッションを行い、要点的に確かなとめた手紙を書く力を養う。	教科書、副教材等						星野道夫さんのエピソードをもとに、自分が会いたい人物を選び、その人物に会いたい理由や要望を手紙に表現できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単元 2 Manga Find Ever-increasing Global Fans	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	感情をあらわすさまざまな表現の運用	【漫画・芸術】 感謝、喜び、確信などの感情をあらわす機能表現						感情をあらわすさまざまな表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	漫画・芸術についてディスカッションを行い、感情豊かなエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						日本のポップカルチャーの特徴と魅力をまとめ、自分の嗜好を感情をこめて発表できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、エッセイ・ライティング						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単元 3 Japanese Baths	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	忠告・義務、必要、提案・勧誘の表現の運用	【日本文化・異文化理解】 忠告、必要、提案をあらわす機能表現						忠告・義務、必要、提案・勧誘の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	日本文化・異文化理解についてディベートを行い、事実と意見を区別したエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						日本の公衆浴場の話題をもとに、具体的な文化・習慣事象について多角的な議論を展開できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単元 4 Innovators of the World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	時間的順序の表現の運用	【人物・科学】 時間秩序をあらわす機能表現						時間的順序の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	人物・科学についてディスカッションを行い、論理構成のしっかりしたレポートを書く力を養う。	教科書、副教材等						J・グドール氏の研究活動の報告をもとに、若手イノベーターを一人選び、その人物についてレポートが書ける。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和 6 年度 年間授業計画 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	1組 神沼・河内 2組 工藤雅・河内 3組 神沼・工藤雅 4組 神沼・工藤雅 5組 神沼・河内 6組 工藤雅・河内
使用教科書：	教科書：Crown Logic and Expression Ⅱ（三省堂） 副教材：Corpus Crown 総合英語（三省堂）、Workbook for Corpus Crown English Grammar 47準拠ワークブック（三省堂）、Crown Logic and Expression Ⅱ サブノート（三省堂）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、機能表現、ディスコースの展開について理解を深め、実際のコミュニケーションや議論の場面において、適切に言語を運用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多面的な情報を整理しながら的確に自らの意見を表明し、それらを論理的かつ効果的に相手に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化の多様性や社会的課題を認識しつつ、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自発的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語における論理的表現の特徴を理解するとともに、それらを自らの研究活動と関連付けて、科学技術者の育成に必要な発話構成力を充実させる。	ディスカッションやディベートを通じて、社会のさまざまな課題に対して主体的に向き合い、科学技術者に求められる論理的態度と批判的考察力を養う。	英語を通じて自らの問いを立て、それを粘り強く追及する表現力を高め、自発的に英語を使って、科学技術者として社会に発信する態度と対話力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
2 学 期	単 元 5 Don't Throw Us Away!	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項						【知識及び技能】				
	例証、分類・列挙の表現の運用	【社会問題】 例証、分類、列挙をあらわす機能表現						例証、分類・列挙の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	社会問題についてディスカッションを行い、具体例を効果的に配置したレポートを書く力を養う。	教科書、副教材等						食品ロスの問題について、統計や具体例を挙げてディスカッションやレポート作成ができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単 元 6 Urban Development	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項						【知識及び技能】				
	空間配列・方向に関する表現の運用	【都市計画】 空間配列、方向をあらわす機能表現						空間配列・方向に関する表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	都市計画についてディスカッションを行い、主体的に未来を提案するエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						シンガポールの都市計画などを参考に、住みやすい未来都市についてディスカッションやエッセイ作成ができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説								○	○		2
	単 元 7 Food and Culture in the World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項						【知識及び技能】				
	方法・様態、数量表現に関する表現の運用	【料理・食文化】 方法・様態、数量表現をあらわす機能表現						方法・様態、数量表現に関する表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	料理・食文化についてディスカッションを行い、描写力と説得力のあるエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						「とんかつ」についてのエッセイをもとに、さまざまな食文化について視野の広いディスカッションとレポート作成ができる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、エッセイ・ライティング						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単 元 8 The Potential for E-Sports	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項						【知識及び技能】				
	賛成・反対の表現の運用	【スポーツ】 賛成・反対をあらわす機能表現						賛成・反対の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	スポーツについてプレゼンテーションとディスカッションを行い、さまざまな立場に配慮するエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						e-sportsについての議論をもとに、ゲームについてさまざまな意見を視野に入れたエッセイが書ける。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説								○	○		2

令和 6 年度

年間授業計画

教科 外国語

科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者： 1組 神沼・河内 2組 工藤雅・河内 3組 神沼・工藤雅 4組 神沼・工藤雅 5組 神沼・河内 6組 工藤雅・河内

使用教科書： 教科書：Crown Logic and Expression Ⅱ（三省堂）
副教材：Corpus Crown 総合英語（三省堂）、Workbook for Corpus Crown English Grammar 47準拠ワークブック（三省堂）、Crown Logic and Expression Ⅱ サブノート（三省堂）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、機能表現、ディスコースの展開について理解を深め、実際のコミュニケーションや議論の場面において、適切に言語を運用できる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多面的な情報を整理しながら的確に自らの意見を表明し、それらを論理的かつ効果的に相手に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化の多様性や社会的課題を認識しつつ、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語における論理的表現の特徴を理解するとともに、それらを自らの研究活動と関連付けて、科学技術者の育成に必要な発話構成力を充実させる。	ディスカッションやディベートを通じて、社会のさまざまな課題に対して主体的に向き合い、科学技術者に求められる論理的態度と批判的考察力を養う。	英語を通じて自らの問いを立て、それを粘り強く追及する表現力を高め、自律的に英語を使って、科学技術者として社会に発信する態度と対話力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
3 学 期	単元 9 All Gone?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	原因・理由、目的、結果の表現の運用	【生態系・環境問題】 原因・理由、目的、結果をあらわす機能表現						原因・理由、目的、結果の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	生態系・環境問題についてディスカッションを行い、問題に対する自己の意見を的確に表明するエッセイを書く力を養う。	教科書、副教材等						絶滅危惧種についてのレポートをもとに、環境問題について自分の意見を的確に表明するエッセイが書ける。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、エッセイ・ライティング						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単元 10 The "New Normal" at School	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	比較・対照、譲歩の表現の運用	【教育】 比較・対照、譲歩を表す機能表現						比較・対照、譲歩の表現が運用できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	教育についてスピーチとディスカッションを行い、自分の意見を的確かつ多角的に表現する力を養う。	教科書、副教材等						オンライン学習や留学といったトピックについて、自分の意見を的確かつ多角的に表現し、提案できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単元 11 Are They Just Like Us? / International Students	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	データを参照するスピーチ・プレゼンテーションの実践	【他者理解】 データを使う発表の技術						データを参照する効果的なスピーチ・プレゼンテーションを作成できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】		○	○	5
	説得力のある長いスピーチとプレゼンテーションを行う。	教科書、副教材等						データを参照して、他者理解について説得力のあるスピーチやプレゼンテーションが実践できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	単元 12 Introduce Japanese Culture	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項						【知識及び技能】				
	円滑なディスカッションの実践	【日本文化】 日本文化を海外に発信する方法						円滑なディスカッションのための段取りを構成できる				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	○	○	○	○	○	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	多角的なディスカッションを行う。	教科書、副教材等						日本文化の海外発信について、しっかり組織された多角的なディスカッションが実践できる。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）						【学びに向かう力、人間性等】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出、リソースの調査、PP発表						上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、積極的に取り組んでいる。				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説								○	○		2